竹澤（たけざわ）　團七（だんしち）　芸歴　人形浄瑠璃文楽座・三味線

生年月日　　昭和10年12月8日

［芸　歴］

昭和28年　8月	十代竹澤弥七に入門（18才）
昭和28年　9月	四代竹澤団二郎を名のる
昭和29年　1月	四ツ橋文楽座にて「寿式三番叟」「壺坂観音霊験記・沢市内の段」のツレで初舞台をふむ
昭和56年　4月	四代竹本津大夫の相三味線となり竹澤団七と改名 「義士銘々伝・弥作鎌腹の段」で披露 （昭和62年9月津大夫の死去まで相三味線をつとめる）

［受賞歴］

昭和46年11月	国立劇場奨励賞
昭和48年　1月	昭和47年度文楽協会賞
昭和48年　5月	昭和47年度因協会奨励賞
昭和50年　1月	昭和49年度文楽協会賞
昭和51年　6月	昭和50年度因協会奨励賞
昭和53年　2月	国立劇場奨励賞
昭和54年　6月	昭和53年度因協会奨励賞
昭和55年12月	国立劇場優秀賞
昭和63年　9月	昭和62年度因協会賞
平成15年　5月	大阪府知事表彰
平成22年12月	平成22年度文化庁長官表彰

［著　作］

平成31年　7月　　「文楽芸談　三味線　竹澤團七　橋寿のつぶやき」
（東方出版）
※荒木雪破氏との共著

［作曲作品］

「近頃河原の達引～道行涙の網笠」（昭和57年）、「夏祭浪花鑑～道行妹背の走書」（昭和60年）、「西遊記」（昭和63年）、「長町女腹切～おはな半七　道行」　他